

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of  
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
**Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-111548

(43)公開日 平成5年(1993)5月7日

(51)Int.Cl.<sup>b</sup>

A 63 B 23/04

識別記号 庁内整理番号

Z 7040-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数11(全 9 頁)

(21)出願番号 特願平4-89462

(22)出願日 平成4年(1992)3月13日

(31)優先権主張番号 668935

(32)優先日 1991年3月13日

(33)優先権主張国 米国(US)

(71)出願人 592079963

ステイーヴン・イー・スコーマン

アメリカ合衆国ノースカロライナ州28150、

シエルビィ、ウエスト、ウォーレン、スト

リート 413

(71)出願人 592079974

ジョン・エイチ・エリス

アメリカ合衆国ノースカロライナ州28150、

シエルビィ、デボラ、サークル 1411

(74)代理人 弁理士 安達光雄(外1名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 万能歩行器脚支持装置

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 傷病者用歩行器に取り付けることが出来、使用者の肉体的 requirement を満たすべく脚支持装置の垂直方向の調節並びに種々異なる支柱配列を有する広範囲の傷病者用歩行器にも装着することができる脚支持装置を提供する。

【構成】 ハンドル部9を備えた直立フレーム構造体と、下方に突出した複数の支柱8とを有するタイプであって身体障害者の運動の支えと安定性を与える歩行器6に取り付けるようになった調節可能な脚支持装置5である。この脚支持装置5は使用者の傷ついた脚、足首、あるいは足を支持する。この脚支持装置5は互いに垂直方向に間隔を置いて配置された複数の予め決まった位置のいずれか一つにほぼ水平になるように歩行器6の支柱8に取り付ける手段を有し脚支持装置5の高さ位置は調節できる。

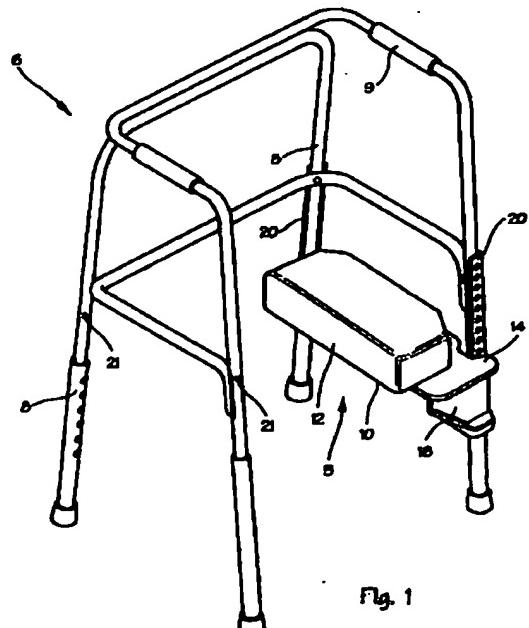


Fig. 1

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 使用者が立っている時や歩いている時に使用者により握られるべき位置にハンドル部を備えた直立フレーム構造体を有しかつ下方に突出した複数の支柱を有するタイプの、身体障害の人に対する支えと運動の安定性を与える傷病者用の歩行器のための調節可能な脚支持装置であって、該脚支持装置は使用者の傷ついた脚、足首、または足を、使用者が動いている間あるいは立ったまま休んでいる間に、付加された快適さと安定性のために、支持する手段を含み、該脚支持装置は互いに垂直の方向に間隔を置いて配置された多くの所定位置の任意の一つにおいて前記歩行器の支柱に脚支持装置を選択的に装着するための手段を有していて、その各々の位置において脚支持装置は概ね水平となるように配置され、かくして脚支持装置の垂直位置が使用者の身体的要求数に従って調節されることが出来る特徴とする調節可能な脚支持装置。

【請求項2】 更に、傷ついたまたは手術された脚、足首あるいは足を使用者が休めることが出来るプラットホームを含み、このプラットホームは使用者の快適さを増すためにその上に装着されたクッションを有することを特徴とする請求項1の調節可能な脚支持装置。

【請求項3】 前記歩行器の少なくとも二つの支柱は穴を有し、前記歩行器に脚支持装置を選択的に装着するための手段は、垂直に配向された少なくとも一つのアングルを含み、このアングルにはその長さ方向に沿って配列されて垂直方向に間隔を置かれた複数の開口が形成されており、かくして、前記脚支持装置が前記の多くの所定の垂直位置のうちの任意の一つに選択的に位置決めされ、その位置では前記開口の少なくとも一つが前記支柱の穴の少なくとも一つに隣接しており、更に、これら隣接する開口と穴に通すことにより前記アングルを前記支柱に選択的に装着するボトル手段を含むことを特徴とする請求項1の調節可能な脚支持装置。

【請求項4】 使用者が立っている時や歩いている時に使用者により握られるべき位置にハンドル部を備えた直立フレーム構造体を有しかつ身体障害の人に対する支えと運動の安定性を与える下方に突出した複数の支柱を有するタイプの傷病者用の歩行器のための調節可能な脚支持装置であって、該脚支持装置は、使用者が運動する間あるいは立ったままで休む時の付加された快適さと安定性のために使用者の傷ついたまたは手術された脚、足首あるいは足を支持する手段と、異なる支柱配列を有する多くの傷病者用歩行器の支柱に脚支持装置を選択的に装着するために該脚支持装置の構造的輪郭を選択的に変える手段とを含むことを特徴とする調節可能な脚支持装置。

【請求項5】 該脚支持装置の構造的輪郭を選択的に変える手段は脚支持装置の有効長を選択的に変える手段を含み、かくして、該脚支持装置は少なくとも二つの支柱

2

間の寸法が異なる多くの傷病者用歩行器に選択的に装着されうるようにしたことを特徴とする請求項4の調節可能な脚支持装置。

【請求項6】 構造的輪郭を選択的に変える手段は前記の多くの傷病者用歩行器の支柱間の角度関係の多様性に対応すべく選択的に調節されることの出来る装着手段を含み、かくして異なる支柱配列を有する多くの傷病者用歩行器に該脚支持装置を使用できるようにしたことを特徴とする請求項4の調節可能な脚支持装置。

【請求項7】 前記脚支持装置は傷ついたまたは手術された脚、足首、あるいは足を使用者が乗せて休めることができるもので、概ね水平なプラットホームを含み、このプラットホームは使用者の快適さを増すためにその上に装着されたクッションを有する請求項4の調節可能な脚支持装置。

【請求項8】 前記歩行器の少なくとも二つの支柱は穴を有し、前記脚支持装置は少なくとも一つの垂直に配向されたアングルを含み、このアングルにはその長さ方向に沿って垂直に間隔を置かれた多数の開口が形成されており、かくして、該脚支持装置は多数の予め定められた垂直位置の任意の一つにおいて選択的に位置決めすることが出来、その位置においては前記アングルの開口の少なくとも一つが前記支柱の穴の少なくとも一つに隣接し、更に、これら隣接した開口と穴とに通すことにより前記アングルを前記支柱に選択的に装着するためにボルト手段が設けられ、かくして、使用者の身体的要求数に従って前記脚支持装置の選択的調節をもたらすことを特徴とする請求項4の調節可能な脚支持装置。

【請求項9】 該脚支持装置の構造的輪郭を選択的に変える前記手段は少なくとも一つの装着板とこの装着板を該プラットホームへこれに対する装着板の選択的水平移動を許容して脚支持装置の有効長を増減できるように取り付ける手段とを含み、かくして少なくとも二つの下方に突出する支柱間の寸法が異なっている多くの他の傷病者用歩行器に脚支持装置を装着できるようにしたことを特徴とする請求項8の調節可能な脚支持装置。

【請求項10】 該脚支持装置の構造的輪郭を選択的に変える前記手段は該プラットホーム装着板に蝶番手段を取り付けられた少なくとも一つの垂直に配向された垂直支持板を含み、該蝶番手段は該垂直支持板に装着された第一蝶番部分と該プラットホーム装着板に装着された第二蝶番部分とを含み、該蝶番手段は該プラットホーム装着板と該垂直支持板との間に $0^\circ$ と $180^\circ$ との間で選択的角度配向を与え、かくして、異なる角度配向で下方に突出した支柱を有した多くの傷病者用歩行器に脚支持装置を選択的に装着するようにしたことを特徴とする請求項9の調節可能な脚支持装置。

【請求項11】 使用者が立っている時あるいは歩いている時に使用者により握られるべき位置に設けられたハンドル部を備えた直立フレーム構造体を有し、身体障害

50

3

の人にに対して支えと運動の安定性を与えかつ穴を備えた下方に突出する支柱を複数有するタイプの傷病者用歩行器のための調節可能な脚支持装置であって、該脚支持装置は：

a)運動の間あるいは休んでいる間の付加的な快適さと安定性のために使用者の傷ついた脚、足首、あるいは足を支持する手段を含み、この手段は使用者が脚、足首または足をのせて休め支えることが出来るプラットホームを含み、該プラットホームは使用者の快適さを増すためにその上に装着されたクッションを有し；

b)脚支持装置を歩行器に選択的に装着する手段を含み、この手段は

i)少なくとも一つの垂直に配向されたアングルを含み、このアングルにはその長さ方向に沿って配列された複数の垂直に間隔を置かれた開口が形成されており、かくして脚支持装置が複数の垂直位置の一つにおいて選択的に位置決めでき、この位置では前記アングルの少なくとも一つの開口が前記支柱の該穴の少なくとも一つに隣接し、更に、これら隣接する開口と穴に通すことにより該アングルを該支柱に選択的に装着するボルト手段を含み、しかして、

使用者の身体的要件に従って脚支持装置の選択的調節をもたらし、

ii)該脚支持装置の有効長を選択的に変える手段を含み、これは少なくとも一つの装着板と、該プラットホームに対して該装着板をその選択的水平移動を許容して脚支持装置の有効長を増減できるように取り付ける手段とからなり、かくして前記の下方に突出する支柱の少なくとも二つの間の寸法が異なっている複数の種々な傷病者用歩行器に脚支持装置が装着できるように、そして

iii)該脚支持装置の角度的配向を選択的に変える手段を含み、これはプレート装着板に蝶番手段で装着された少なくとも一つの垂直に配向された垂直支持板からなり、その蝶番手段はプラットホーム装着板に装着された第一蝶番部分と該垂直支持板に装着された第二蝶番部分とを有し、該蝶番手段は該プラットホーム装着板と該垂直支持板との間に $0^\circ$ と $180^\circ$ の選択的角度調節をもたらし、しかして異なる角度配向で下方に突出する支柱を有した多くの傷病者用歩行器に該脚支持装置の選択的装置をもたらすことを特徴とする調節可能な脚支持装置。

#### 【発明の詳細な説明】

【0001】本発明は動きまわったり立っているのに付加的な支え並びに安定を必要とする身体障害、術後あるいは負傷した人々のための歩行用補助器具に一般的に関し、特に傷病者用歩行器並びにこれに装着できる脚又は脚支持装置に関する。かかる装置はここでは脚支持装置という用語で呼ばれる。しかしかかる用語は使用者の脚、足及び足首を支えるのに使用される装置を含むものであることは明白に理解される。現在、傷病者用歩行器は概して、四本の下方へ突出した支柱のある直立フレ

4

ム構造体を有し、この直立フレーム構造体の上方部分には使用者が握るためのハンドルが設けられている。使用者はフレーム構造体の環内に立ち、ハンドル部分を握り、かくして立っている間あるいは歩いている間このフレーム構造体を安定性並びに支えとして利用する。

【0002】一般に傷病者用歩行器はハンドルを握ることにより一人で自分自身を支えるべく使用者の腕を利用することを使用者に要求する。問題は、負傷した区域を上方胸部で支えて疾患のある脚を自由に懸架しなければならない脚、足首、または足に傷のある人あるいは手足を切断した患者に対して発生する。概して、脚支持装置が差し出されたとき、その支持装置はこれが適用される歩行器とその使用を制限する固定した位置において提供されて来た。前述の手足切断患者や脚、足首、あるいは足に傷のある身体障害者は支持装置が全くないよりも一層悪い脚支持装置とたやすく直面しうるであろう。例えば、脚支持装置が不利な位置に設けられている場合、その固定取付け位置の故に使用不可能かまたは不快の原因となる。

- 10 20 【0003】例えば、米国特許第3596668号(To sto)は傷病者用歩行器の開いたフレーム構造に装着された脚支持装置を開示している。しかし、この米国特許第3596668号の脚支持は歩行器フレームの二つの交差した部材に装着されていて、それで、歩行器フレームの交差部材に関して固定した位置に有効に存する。かかる米国特許の脚支持装置は高さ調節をなすことが出来ず、種々のフレームや支柱構造を有する広範囲の歩行器に使用すべく簡単に適応しないのである。

- 30 30 【0004】更に、もしもある人が一時的に脚支持の必要性が生じて脚支持装置付きの歩行器を利用したとして、その必要性を過ぎれば、使用者は歩行器を交換することを強いられよう、逆に、歩行器の使用者が突然に脚支持を要求したとするならば、使用者は再び歩行器を取り換えないなければならない。さらに、傷病者用歩行器の供給者は二種の歩行器：脚支持付きのものと脚支持のないものとの二種をいつも置いておき各種に対する要求を満足させなければならないのである。

- 40 40 【0005】従って、本発明の目的は傷病者用歩行器に取り付けることが出来、使用者の身体的要件を満たすべく脚支持装置の選択的垂直方向調節並びに種々異なる支柱配列を有する広範囲の傷病者用歩行器にも脚支持装置の装着を許容する選択的装着可能性を有した脚支持装置を提供することである。

- 【0006】本発明の脚支持装置は立っている時又は歩いている時に使用者により握られる位置に設けられたハンドル部のある直立フレーム構造体と、身体的障害のために支えおよび運動の安定性を与える下方に突出した複数の支柱とを有するタイプの傷病者用歩行器に基本的に適用される。根本的に、この脚支持装置は概ね水平に配置され、好ましくはクッション付きの、プラットホ

5

ームと、脚支持装置を歩行器へ使用者の肉体的要望に従って複数の垂直位置のうちの任意の一つの所に選択的に装着するための構造と、種々な支柱配列を有する広範囲の傷病者用歩行器に脚支持装置を取り付けることが出来るように脚支持装置の形状を選択的に調節する様になした構造とからなる。

【0007】本発明の一観点によれば、脚支持装置は互いに垂直方向に関して間隔を置いて配置された多数の所定の位置の任意の一つにおいて歩行器支柱へ脚支持装置を選択的に装着するための構造を有し、その各位置において脚支持装置はほぼ水平に配置されて、使用者の肉体的要望に従って脚支持装置の垂直位置が調節されうる。

【0008】本発明の好ましい実施例においては、脚支持装置を歩行器支柱に選択的に装着するための前記構造は、少なくとも一つの垂直に配向されたL字型アングルを含む。このアングルには多数の開口がその長手方向に沿って配列されて形成されており、かくして、複数個ある所定の垂直方向位置の任意の一つにおいて脚支持装置は選択的に位置決めされうる。この位置においてL字型アングルの一つの開口が隣接する歩行器支柱の穴と整列している。また、この装着構造はその隣接する穴に通すことにより字型アングルを支柱に選択的に装着するためのボルト構造を含み、使用者の肉体的要望に従って脚支持の選択的調節をもたらす。

【0009】本発明の他の観点によれば、脚支持装置は異なる支柱配列を有した多くの傷病者用歩行器に脚支持装置を選択的に取り付けるために脚支持装置の構造的形状を選択的に変える機構を含む。この機構内には脚支持装置のプラットホームの有効長を選択的に変えるための構成を含み、かくして、支柱間の寸法が種々に異なる傷病者用歩行器の多くのものにも選択的に脚支持装置を取り付けることが出来る。更にこの機構内には少なくとも二つの支柱の間の角関係から種々に異なる傷病者用歩行器の多くのものにも選択的に脚支持装置を取り付けることが出来るようにプラットホームに関連せしめられた螺旋配列を含む。

【0010】本発明の好まし実施例によれば、プラットホームの有効長を選択的に変えるための構成は少なくとも一つのプラットホーム装着板と、プラットホームに対してプラットホーム装着板の選択的水平移動を許容すべくプラットホームにプラットホーム装着板を装着する機構とを含む。この機構は脚支持装置のプラットホームの有効長を増減させ、かくして少なくとも二つの下方に突出した支柱間の寸法が異なっている多数の別の歩行器にも脚支持装置が装着されうる。

【0011】脚支持装置の構造的形状を選択的に変える機構は、好ましくは、プラットホーム装着板に螺旋アセンブリで装着された少なくとも一つの垂直に配向された垂直支持板を含む。第一螺旋部分は概ね水平に配向されたプラットホーム装着板に取り付けられ、第二螺旋部分

6

は垂直支持板に取り付けられており、かくして、プラットホーム装着板と垂直支持板との間に0°と180°間の選択的角度配向が達成される。かくして、脚支持装置は異なる角度配向で下方に突出した支柱を有した傷病者用歩行器の多くのものにも装着されうる。

【0012】添付の図面を参照して、特に図1を参照して詳細に説明する。本発明の好ましい実施例の脚支持装置の全体が参考符合5で指示されて図示されている。この脚支持装置5は傷病者用の一般的な歩行器6に装着されている。この歩行器6は使用者により握られるように配置されたハンドル部9のある直立フレーム構造体と、下方へ突出した複数の支柱8とを含んでる。脚支持装置5は基本的にプラットホーム10を有し、この上にクッション12が支持されており、二つのプラットホーム装着板14がプラットホーム10に装着されている。対応した二つの垂直支持板16がプラットホーム装着板14に装着されており、更に歩行器6の支柱8には脚支持装置5を装着するためのL字型アングル20が垂直に配置されている。

【0013】図2および図3に最もよく見られる如く、二つのプラットホーム装着板14の各々には平行なスロット30が形成されている。各スロット30にはこれを貫通してボルト28が延びており、このボルト28はプラットホーム10にねじりに受けられている。図3を見れば、一方または両方のプラットホーム装着板14は、ボルト28を緩めることによりプラットホーム10に対して動かせることが明白である。プラットホーム10に対してプラットホーム装着板14をスライドさせ、その後、ボルト28を再び締める。

【0014】図2および図4に最もよく見られる通り、各プラスチックホーム装着板14の延出端に一つの垂直支持板16が螺旋18により装着されている。各螺旋18はプラットホーム装着板14に取り付けられる第一部分と垂直支持板16に取り付けられる他の部分とをしている。かくして螺旋18は垂直支持板16に0°乃至180°の範囲にわたる相対的角運動を許容する。各垂直支持板16はL字型アングル20に、好ましくはリベット又は同様の態様により、取り付けられている。そして、図2および図4に最もよく見られる通り、垂直支持板16の低端において外方に突出した肩とL字型アングル20の下端に取り付けられたラッチ板22との間に、フック形ラッチ・クリップ24が枢動可能に装着されている。この枢動可能な装着は前述の外方に突出した肩と、ラッチ・クリップ24と、ラッチ板22を通ったピボット・ピン25を含む。図3に示されている通り、またこれから詳細に記述する通り、ラッチ・クリップ24は、図3に点線で示す開放位置と、図3に実線で示す歩行器6の支柱8と係合する閉鎖位置との間でピボット・ピン25のまわりに回転できる。中にコッターピン2

50 7'を有した除去可能なピン27が設けられていて前記

の外方へ延びた肩の穴と、フック形ラッチ・クリップ24の穴と、ラッチ板22とを通って挿入されるようになっている。これらの穴はラッチ・クリップ24がその閉鎖位置すなわち支柱と係合する位置にあるとき互いに整列する。

【0015】垂直に配列されたL字型アングル20の各々には複数の穴または開口32が形成されている。これらの開口32はアングル20の垂直に延びた長さ方向に沿って互いに垂直に間を置かれている。アングル20の上方端は歩行器6の一側における前方支柱8または後方支柱8へナットボルト手段26により装着されている。ナットボルト手段26はアングル20の開口32を通りかつ二つの支柱8の各々に適宜配列されている穴21を通過して延びている。ナットボルト手段26はアングル20を支柱8へ取り付けるための好ましい手段であるが、勿論他の手段、例えばクランプの如き周知の取付け装着を前記目的のために使用できることを理解されたい。

【0016】使用に際して、前記普通の歩行器6は入れ子式に伸縮する支柱部分8'を通常含んでいる。この支柱部分8'は通常の穴とピンの手段を備えて、この歩行器を使用する各個人に対して歩行器のハンドル部9を正しい垂直高さに適宜位置決めすべく、歩行器の高さが調節出来るようになっている。本発明によれば、脚支持装置5はこの歩行器6に一方の側の前方支柱8と後方支柱8との間に装着される。図1は歩行器6の一側に装着された脚支持装置5を示しているが、所望であれば歩行器の他側の二つの支柱8に容易に装着されうることが認められよう。

【0017】本発明の脚支持装置5のユニークな構造は歩行器6の支柱8に実際どんな多くの異なる垂直位置にも脚支持装置5を取り付けるのを許容するばかりか、脚支持装置5の全体的構造の形状は、歩行器の支柱間の間隔が種々異なっていたり、支柱8の角度的配向が種々異なっている。どんな従来のあるいは普通の歩行器6にも脚支持装置5が装着できるように、選択的に調節できる。つまり、脚支持装置5を歩行器6の支柱8に装着するためには、L字型アングル20の各々のラッチ・クリップ24はその各々の開放位置へ外方へ枢動され、かつボルト28が少し緩められてプラットホーム装着板14をプラットホーム10に関して内方または外方へ動かせ、次いで二つのL字型アングル20を二つの支柱8のまわりに配置し、アングル20を支柱8に関して垂直に動かし、各アングル20の開口32の一つを所望の高さで隣接する支柱の穴21と一致させる。かくしてこの歩行器6の使用者の身体的条件に合うようにされる。すなわち、この垂直高さで使用者の曲げられた脚がプラットホーム10のクッション12に最も気持ちよく乗せることが出来る。

【0018】プラットホーム10に対するプラットホーム装着板14の相対運動は前方支柱と後方支柱との間の

間隔が種々異なっている歩行器の支柱8間に適合する程度にまで脚支持装置5の有効長を変えうるようにしているということに注意されよう。更に、ほとんどの歩行器の前方支柱及び後方支柱は互いに平行に延びていないで、本発明の脚支持装置5の有効長の調節は、たとえ、支柱8間の距離が図2に示す歩行器6の如く上から下に行くにつれて徐々に増大しても支柱8に異なる垂直位置で脚支持装置5を取る付けるのを許容する。

【0019】また次のことも注意されよう。すなわち、蝶番18は垂直支持板16がアラットホーム装着板14のまわりで内方や外方へ枢動するのを許容し、かくしてL字型アングル20（これらは垂直支持板16に取り付けられている）が二つの支柱8の角度的配向と正確に一致するのに必要である角度的配向をいかなるものもアングル20は取りうる。

【0020】本発明の脚支持装置5の前述した調節可能な形状を利用して使用者個人に合うようにアングル20を所望の調節された位置に位置決めした後、アングル20の開口32と支柱8の穴21とにボルト26を挿入して、これら開口32、穴21は互いに一致してアングル20の上部を支柱8に固定する。そして、ラッチ・クリップ24が内方へその閉鎖位置へと枢動されて、図3に最も良く見られている如く支柱としっかりと係合する。次いで、ボルト28が再び締められ、脚支持装置5が歩行器6の使用者個人に最も適した垂直位置で二つの脚8間にしっかりと装着される。

【0021】上述のことから次の二つのことが認められる。すなわち、脚支持装置5は与えられたどの歩行器6にも多数の垂直位置の一つへ容易に調節できる。また、この脚支持装置5は種々な支柱間隔と種々な支柱角配向とを有する広範囲にわたる種々な歩行器のいずれの一つにも調節可能に装着されうる。本発明の後者の利点は、特許品の特別な歩行器に使用する一時的な基礎で、歩行器をリースする商業的制度において、患者に提供できる脚支持装置の在庫を医者あるいは他の医療看護者が維持しようと望む場合に特に顕著である。なぜならばリース会社により在庫に通常維持されている広範囲に種々な歩行器に使用できる脚支持装置あるいは患者自身がすでに所有している種々な歩行器に使用できる脚支持

40 装置をリースすることも出来るからである。

【0022】最後に、本発明により作られた容易に調節できる脚支持装置を備えた歩行器は、使用者が比較的自由に動きまわることが出来かつ他から何らの介添なしに多数の仕事をすることが出来るという程の顕著な自由度を使用者に提供する。

【0023】それ故、本発明は広範囲の利用と適応を許すものであるということを当業者により容易に理解されるであろう。前述したもの以外の本発明の多くの実施例および応用、並びに、多くの改変、変更、並びに等価装置が、本発明の範囲または大意から逸脱することなく、

9

本発明およびこれまで述べて來たものから明白あるいは合理的に教示されよう。従って、本発明はその好ましい実施例に関して詳細に以上述べて來たが、この開示は本発明の具体例を説明するためであり、発明の十分かつ可能な開示の目的のためだけになされたものであるということが理解されるべきである。前述の開示は本発明を限定するためになされたものではなく、その実施例、適用、変更、改変および等価構造を排除するものではない。本発明は特許請求の範囲によってのみ制限される。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】図1は本発明の好ましい実施例の脚支持装置の斜視である。

【図2】図2は図1の脚支持装置の側面図である。

【図3】図3は図2の脚支持装置の底面図である。

【図4】図4は図3の脚支持装置の斜視図で、その装着配列を示す。

## 【符号の説明】

## 5 脚支持装置

10

- 6 歩行器
- 8 支柱
- 9 ハンドル部
- 10 プラットホーム
- 12 クッション
- 14 プラットホーム装着板
- 16 垂直支持板
- 20 L字型アングル
- 21 穴
- 22 ラッチ板
- 24 フック形ラッチ・クリップ
- 25 ピボット・ピン
- 26 ボルト
- 27 ピン
- 28 ボルト
- 30 スロット
- 32 開口

【図1】

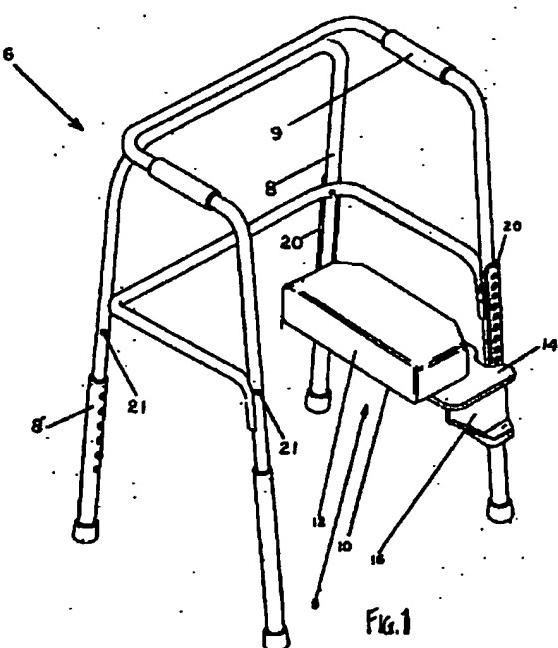


Fig.1

【図4】

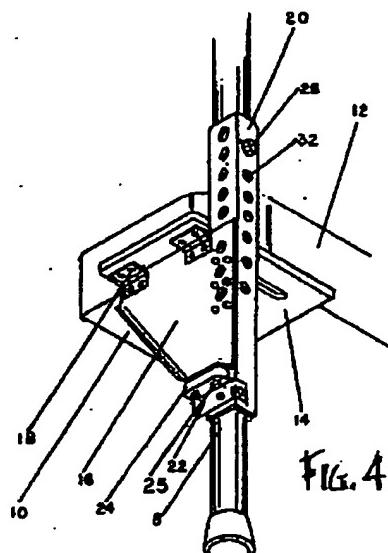
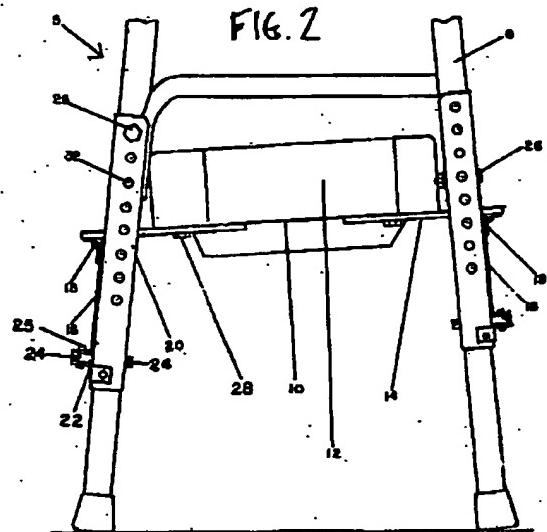
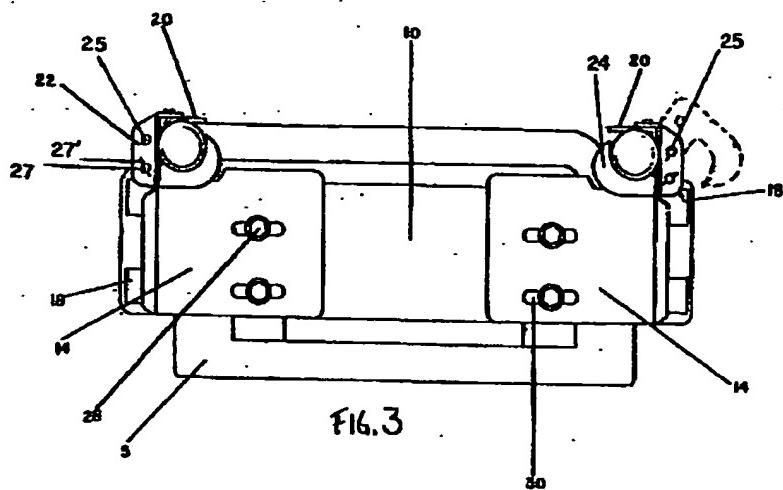


Fig.4

【図2】



【図3】



## 【手続補正書】

【提出日】平成4年3月30日

【手続補正1】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正内容】

〔図1〕

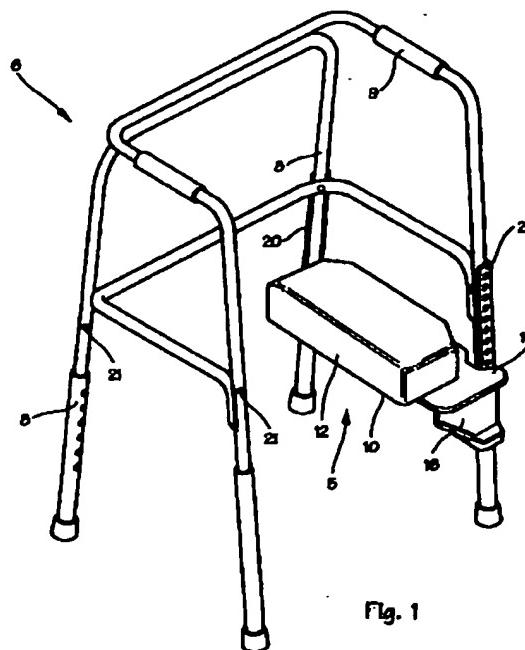


Fig. 1

【図2】

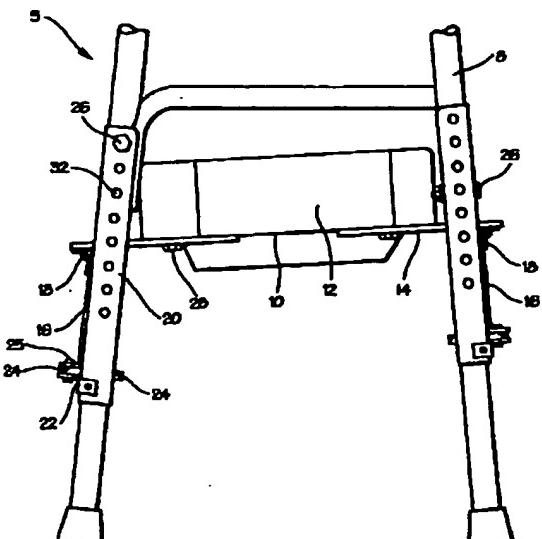


Fig. 2

〔図3〕

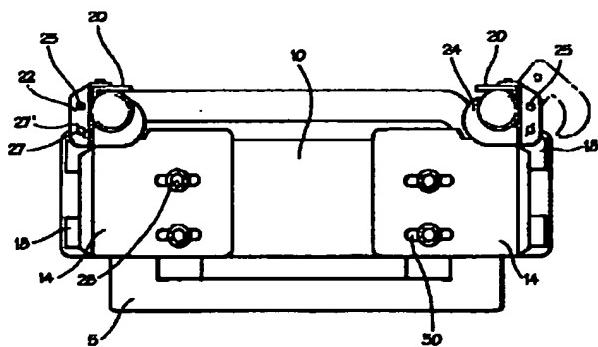


Fig. 3

【四】

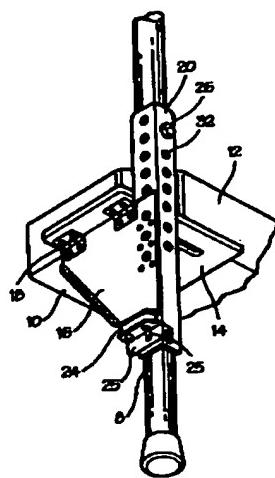


Fig. 4

## フロントページの綴き

(72)発明者 スティーヴン・イー・スコーマン  
アメリカ合衆国ノースカロライナ州28150、  
シエルビイ、ウエスト、ウォーレン、スト  
リート 413

(72)発明者 ジョン・エイチ・エリス  
アメリカ合衆国ノースカロライナ州28150、  
シエルビイ、デボラ、サークル 1411

**PAT-NO:** **JP405111548A**  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** **JP 05111548 A**  
**TITLE:** **UNIVERSAL WALKER LE SUPPORT DEVICE**  
**PUBN-DATE:** **May 7, 1993**

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
<b>SKORMAN, STEVEN E</b>	
<b>ELLIS, JOHN H</b>	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
<b>SKORMAN STEVEN E</b>	<b>N/A</b>
<b>ELLIS JOHN H</b>	<b>N/A</b>

**APPL-NO:** **JP04089462****APPL-DATE:** **March 13, 1992****INT-CL (IPC):** **A63B023/04****US-CL-CURRENT:** **135/66****ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To provide a leg support device which can be attached to a walker for the wounded and also to a wide range of walkers for the wounded which have vertical adjustments of the leg support device and a variety of support arrangements to satisfy physical requirement of a user.

**CONSTITUTION:** An adjustable leg support device 5 is of the type having an upright frame structure with a handle part 9 and having a plurality of downwardly projecting supports 8, and is designed to be attached to a walker 6 providing support and stability for the movement of the disabled. The leg support device 5 supports the wounded legs, ankles, or feet of the user. The leg support device 5 has a means for attaching it to the support 8 of the walker 6 in such a way that it is almost horizontal, at either one of

· plural pred t rmin d p siti ns which are v rtically spac d apart from on  
an th r, and the height positi n f the l\_g supp rt device 5 is adjustable.

**COPYRIGHT: (C)1993,JPO**